

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

<心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子>
○めあてに向かって 粘り強く取り組み 互いに学びあえる子を育てます。(知)
○自分も友達も大切に 心豊かな子を育てます。(徳)
○心と体を大切に たくましく生きる子を育てます。(体)
○住んでいるまちのよさを知り 共に生きていこうとする子を育てます。(公)
○社会への視野を広げ 柔軟に対応できる子を育てます。(開)

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力

自分らしさの発揮(自己肯定感)
伝え合う言葉の力

具体化した資質・能力

自他を大切にする心
自他の理解とコミュニケーションの大切さ
身近な地域への愛着
内省(振り返り)の習慣
好奇心・主体性・積極性

中期取組目標

子ども一人ひとりの思いや願いを大切に、自ら学び続ける児童を育てます。【合言葉「ひらりん cha-cha-cha」】
子どもたちが「学びのchanceを生かし」「自分の可能性にchallengeすることで」「自信や元気をcharge」するために、「3つの感」に取り組めます。
【感】ひらりんcha-cha-chaで 心 動く
【感動】 本物と出会う体験的な学びを大切にします。
【感謝】 地域学校協働本部台小サポーターズ等による充実した学びを大切にします。
【実感】 きょうしつ(気付く、寄り添う、受けとめる、信頼される大人になる、繋ぐ)による児童に寄り添った安心安全な学びを大切にします。

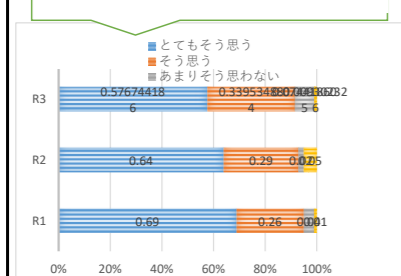
学力向上アクションプラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (授業改善) and 具体的取組 (①児童が問題意識をもって楽しく学習に向かい、学習後に主体的な学びを可能とする振り返りを行う。②言葉で大切に伝え合う活動や体験的な学びを取り入れ、思考力判断力表現力を育てる授業を展開する。③教科分担任制や少人数指導を計画的に行い、複数の教員で個に寄り添った丁寧な指導を目指す。)

学力向上に関わる本校の状況

(1)学力に関わる児童の実態
(学校評価アンケート 経年変化より)
授業は、よくわかり楽しく学習できましたか。

自分に自信がなく、思ったことを表現することが苦手な実態→楽しめた！わかった！という体験的な学びを



(2)これまでの学校の取組状況
本校では、教育課程全体で「心をつなぎ 笑顔いっぱい みんなが輝く平戸台っ子」を育てるために、「ひらりんCha-Cha-Cha～学びのチャンス 可能性にチャレンジ 自信と元気をチャージ」を合言葉に子ども・教職員・地域が一体となって教育活動の実践をしている。
児童のコミュニケーションの課題克服のために、「伝え合う言葉の力」を伸ばすための取組を進めてきた。引き続き、「伝え合う」場を意図的に設定することで自分らしさをのびのび発揮できるようにするとともに、子どもたちが「授業がよくわかり、楽しい」と感じることができるよう学びを支えていきたい。

今年度の目標

①児童が問題意識をもって楽しく学習に向かい、学習後に主体的な学びを可能とする振り返りを行う。
②言葉で大切に伝え合う活動を取り入れ、思考力判断力表現力を育てる授業を展開する。③教科分担任制や少人数指導を計画的に行い個に寄り添った丁寧な指導を目指す。

目標を実現するための具体的行動プラン

【低学年】身近な仲間やまちに親しみ、思いを伝えようとする力
・互いの話に関心をもって聴いたり、自分の思いをもち、身近な仲間と話したりする。
・身近な仲間と一緒にチャレンジする。
【中学年】日常生活と学習とをつなげながら、相手の思いを受け止めて聴いたり話したりする力
・グループ活動を取り入れ、自分の思いや考えを伝え、友達の思いを受け止めようとする。
・理科、社会、総合などで様々な資料を活用し調べ学習をする。
【高学年】他者との関わりの中で課題を解決し、適切な言葉で表現する力
・様々な活動を通して、相手の思いを想像しながら聴いたり、自分の思いを伝えたりしようとする。
・課題解決に向けて体験活動を重視し、感じたことを自分の言葉で表現する時間や交流する時間を設定する。

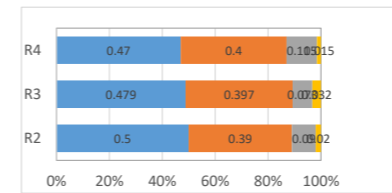
上半期
下半期

豊かな心の育成推進プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (人権教育) and 具体的取組 (①たてわり活動を年間に位置付け、異学年交流の中で互いを思いやる心情を日常的に育む。②ボランティアの方々とふれあい、様々な人とのコミュニケーションを楽しむ子どもを育てる。③自然体験などの体験活動を多く取り入れ、豊かな感性を育てる。④多文化共生を意識し、多様性を認める心情を育む。⑤あいさつを大切にしようとする心情を育む。)

豊かな心に関わる本校の状況

(1)豊かな心に関わる児童の実態
・年間を通じたたてわり活動への意識のあらわれ (R2-4学校評価 児童アンケートより)
『いろいろな学年の人とも仲良くできました。』・・・
8割近い児童が「そう思う」「ややそう思う」と肯定的に捉えています。



・素直で人懐っこく、人のかかわりを楽しみ、コミュニケーションを取ろうとする児童が多い。また、友達に優しく、明るく接する姿も多く見られる。一方、よく考えて言葉を選んだり、行動に移したりすることがなかなかできず、トラブルに発展する場面も多い。他者を思いやり、違いを受け入れる態度を育成したい。

(2)これまでの学校の取組状況
・集団登校や年間を通じたたてわり活動の中で、異学年とのかかわりや、憧れや思いやりを育む活動を行っている。
・様々な学習活動の中で、保護者や地域などのボランティア(『台小サポーターズ』)とのかかわりをもつようになっている。
・体験的学習を多く取り入れ、様々な「本物」に触れる機会をつくって心を動かす、実感の伴う活動を目指している。

今年度の目標

○人とのふれあいを大切に、他者を思いやり、違いを受け入れる態度を育成する。

目標を実現するための具体的行動プラン

○「人」のつながり
・たてわり活動を通して、異学年との関わりを築く。
・ボランティアと連携した体験活動を多く取り入れる。
○「授業」のつながり
・保護者や地域に向けて、全学級での道徳授業公開を年1回以上実施する。
・総合的な学習の時間などの自然体験や宿泊体験学習において、好奇心をもって様々な「本物」に触れ合ったり、他者と共に協力したりしながら、主体的にチャレンジする機会を意図的に設定する。
○「学びの場」のつながり
・取り出し指導や国際教室など多様な学びの場を整備し、柔軟な選択ができるようにする。

○「人」とのつながり
・たてわり活動を通して、異学年との関わりを築く。
・ボランティアと連携した体験活動を多く取り入れる。
・「人権週間」では自他を大切に、違いを認める態度を育むようにする。
・「国際週間」では多文化を尊重し、多様性を認める心情を育むようにする。
○「授業」のつながり
・保護者や地域に向けて、全学級での道徳授業公開を年1回以上実施する。
・「読書週間」では進んで本に親しむことで、豊かな感性を育むようにする。
・「給食週間」では感謝の気持ちに気づけるような活動になるよう工夫する。
・理科や音楽などでは、外部講師とのふれあいや「本物」とのふれあいの中で、豊かな体験活動を行い、更に創造性を生み出す発展的学習へとつなげたり広げたりしていくようにする。
○「学びの場」のつながり
・取り出し指導や国際教室など多様な学びの場を整備し、柔軟な選択ができるようにする。

健やかな体の育成プラン

Table with 2 columns: 重点取組分野 (健康教育) and 具体的取組 (①教科学習、たてわり活動等を通じて体を動かす機会を設け、体を動かす楽しさを感じられるようにする。②学級活動、給食指導、教科指導(保健)、学校保健委員会等を通じて、健康に対する意識を高め、日常生活を送れるようにする。③体力テストを基に児童の実態に合った体力の向上を意識した授業づくりを行っていく。)

健やかな体に関わる本校の状況

(1)健やかな体に関わる児童の実態
○横浜市体力・運動能力調査では、「朝ご飯を食べない」児童が一定数おり、その原因としては夜寝る時刻が遅いため、朝起きられず朝食を食べないという生活習慣の乱れが見られる。また、運動不足や生活リズムの乱れから体調を崩す子どもが多い。
○朝会や授業中の様子を見ていると、姿勢保持が難しい児童が見受けられる。
○せっけんを使っての正しい手洗いができていない児童や、手洗いの後に使うハンカチを持ってこない児童が多い。

(2)これまでの学校の取組状況
○朝の時間を使って「朝ヨガ」を行い、体の柔軟性を高めるとともに体を動かす機会を作った。
○学校保健委員会や体づくり委員会を中心に、正しい手洗いやハンカチ持参の啓発活動を行い、衛生に対する意識を高め、習慣化を目指した。
○運動会や「たてわりなわとび大会」などたてわり活動を軸とし、学校全体で運動に取り組んできた。



今年度の目標

○健やかな体に関する取組について、具体的な実践を考えることで主体的に生活習慣を改善しようとする態度を育成する。
○休み時間に校庭へ出て、児童が進んで楽しく体を動かす機会を設ける。

目標を実現するための具体的行動プラン

○課題解決に向けた具体的な実践につなげられるようにするために、横浜市体力・運動能力調査や健康診断の結果を一人ひとりの児童が振り返る時間を設定する。
○楽しみながら自分の成長が実感できるように、縄跳びタイムを体づくり委員会中心に運営する。みんなで体を動かす楽しさを感じられるように、年1回たてわり活動の中で長縄集会を実施する。
○自分の生活習慣を振り返り、規則正しい生活習慣を整えられるようにするために、長期休業・連休明けに生活リズムカードを実施する。
○正しい姿勢を保つために必要な筋力を身につけ心身ともに健康な毎日過ごすために、ヨガ運動に取り組む。

上半期
下半期